

- 別紙1 令和7年(第53回)埼玉県柔道選手権大会兼
【関東柔道選手権大会埼玉県予選会】実施要項
- 1 日時 令和7年1月12日(日)午前10時開会
- 2 場所 大宮武道館
さいたま市見沼区堀崎町12-36 電話048-687-1011
- 3 主催 埼玉県柔道連盟
- 4 後援 埼玉県教育委員会 (公財)埼玉県スポーツ協会 朝日新聞さいたま総局
埼玉新聞社 テレビ埼玉
- 5 参加資格 (1) 各部の出場選手は日本国籍を有し、埼玉県柔道連盟経由で(公財)全日本柔道連盟に登録し、各支部会長から推薦された者。
(2) 卒業年度の大学生は他の都道府県の登録者であっても、今年、他県等から予選会に出場しなければ出場できる。
(3) 原則参段以上とするが、それ以下であっても各支部会長が推薦する者はこの限りではない。
(4) 出場者数は、各支部、大学においては、原則として7名以内とする。
- 6 試合方法 (1) 国際柔道連盟試合審判規定および全日本柔道選手権大会申し合わせ事項並びに埼玉県柔道選手権大会申し合わせ事項にて行う。
(2) 試合時間は、準決勝まで5分間、決勝戦は8分間とする。
(3) スコアは「一本」「技あり」「有効」の3種類とし、「技あり」2つで合せ技「一本」とする。抑え込みの時間は、20秒で「一本」、15秒以上で「技あり」、10秒以上で「有効」とする。
(4) 「指導」による罰則は、4回目が与えられた時点で「反則負け」とする。
(5) 試合時間内に勝敗が決しない場合は、判定にて勝敗を決する。
判定基準は試合態度、技の効果と巧拙、及び反則の有無等を総合的に比較する。攻撃を高く評価するため「指導」の数のみを持って判定の材料とはしない。
(6) 立ち姿勢において、相手と組んだ状態で攻撃・防御のために、相手の帯から下を掴む(触れる)ことは反則(指導)とはしない。但し、相手と組んでいない状況で直接相手の帯から下へ攻撃を行うことは反則(指導)とする。
(7) 全柔連柔道衣規格に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)を着用すること。柔道衣の大きさ又は規格が規定に合わない場合は出場を認めない。
(8) 試合はトーナメント戦で行い、順位決定戦を行う。
【全日本柔道連盟において大会要項の変更がある場合は、それに準拠する】
- 7 組合せ 埼玉県柔道連盟において抽選会により組合せを行う。
- 8 表彰 優勝者・第2位・第3位(2名)を表彰する。

- 9 参加申込 各支部柔道連盟・大学は所定の用紙に必要事項を記入の上、参加費を添えて埼玉県柔道連盟事務局へ提出願います。
埼玉県柔道連盟事務局
〒330 - 0074 さいたま市浦和区北浦和 5-6-5
埼玉県浦和合同庁舎内 TEL048 - 822 - 5891
- 10 申込期日 令和6年12月13日(金)迄 厳守にて
- 11 選手変更 令和7年1月6日(月)15時迄 必着(厳守にて)
- 12 参加費 一名2,000円(傷害保険料含む)
参加費の納付に付いては、下記の振込口座に振込みのこと。
振込み先 ゆうちょ銀行 00180-1-391120 埼玉県柔道連盟
埼玉りそな銀行 県庁支店 3505526 埼玉県柔道連盟
- 13 服装 出場選手は、柔道衣に所定のゼッケン(苗字・所属)を必ず縫い付けること、ゼッケンのない者は出場できない。
- 14 推薦選手 前年(2024/4/29)の全日本柔道選手権大会又は、(2024/11/2・3)講道館杯全日本体重別選手権大会に出場し相当の成績を修めた者の申込みがあった場合は、関東柔道選手権大会に本県代表選手として推薦することができる。この場合においても、本大会に出場することはできる。
- 15 その他 1) 出場選手には埼玉県柔道連盟において傷害保険に加入する。
2) 皮膚真菌症(トランズランス感染症)の感染選手は、大会への出場はできない。
3) 脳震盪対応
①大会1カ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
③練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
④当該選手の指導者は、大会事務局に書面により事故報告書を提出すること。
4) 大会申込書(男・女)、選手権登録届、選手変更届
【4)は県柔連ホームページよりダウンロードのこと】
5) 練習会場は、2階柔道場が他団体が使用するため主道場とする。
6) 関東柔道選手権大会においても、令和7年全日本柔道選手権大会要項により実施予定。
- 16 問合せ先 埼玉県柔道連盟 事務局 TEL 048-822-5891 FAX 048-833-8618

以上